

# 魚の“旬”をお知らせします！ 魚市場水揚げ通信

## 女川魚市場 編



宮城県東部地方振興事務所水産漁港部  
「みやぎ水産の日」PR広報紙 vol.42(1) (平成31年1月29日発行)

### 水揚状況

1月11日の水揚状況は、女川周辺や牡鹿半島周辺で漁獲され陸上輸送されたマダラ、ブリ、キアッコウ、マアナゴ、目光、吉次、ヤナギムシガレイ、ヒラメ、毛ガニ、スルメイカ、ナメタガレイ、メバル、アイナメ、タナゴ、スズキ、マトウダイなどが手際よく選別・計量され次々と販売されていました。



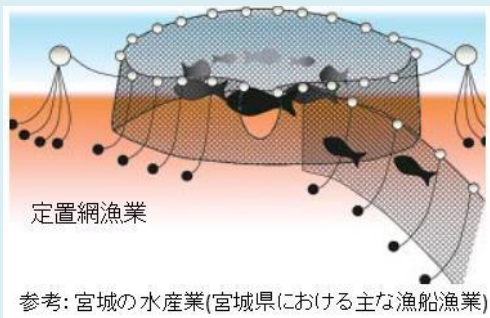
### 買受人さん情報

アブラザメ(底曳き)

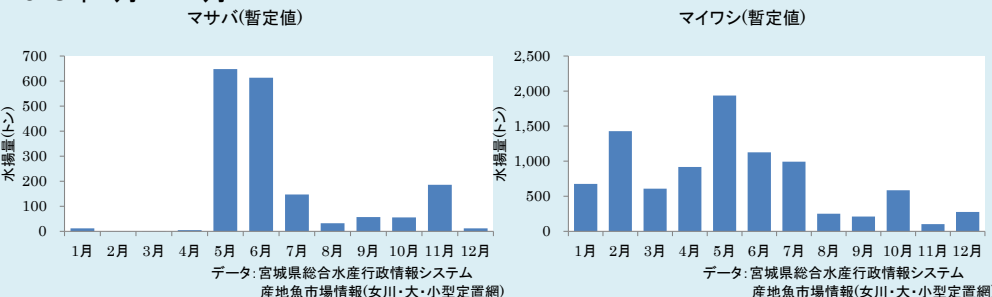
昔、地元では味噌田楽にして食べていたそうで、主に関東方面に出荷されるとのことでした。



当日は定置網による水揚がメインでマサバやマイワシを主体にウルメイワシ、チダイ、サンマ、マアジ、イシガキダイ、スルメイカ、サルエビ、ニシン、ウマヅラハギ、スズキ、タケノコメバル、ヤリイカ、マダラ、マトウダイ、イシガレイ、ヒガンフグ、マダコなどが水揚げされ、9kgのブリや4kg近いヒラメも水揚げされていました。



### 女川魚市場におけるマサバ、マイワシの水揚動向(大・小型定置網) 2018年1月～12月



### 株式会社女川魚市場の木村部長に今年一年の抱負をいただきました。

昨年はギンザケ、サンマが、比較的好調だった。カツオも期待したが、三陸漁場全体で少なかった。今年は昨年以上の水揚げを期待したい。さらに、まき網の誘致活動も行っており、こちらの水揚げにも期待している。

大型定置も海況の変化で魚種のパターンが変わってきている。今後は漁場の変化に対応した取組みが必要と考えている。



### 編集後記

新年早々の魚市場取材は強風の中でのスタートとなりましたが、市場には多種多様の魚が水揚げされ活況を呈していました。定置はマサバ、マイワシの水揚げが主体でしたが、間近で見る9kgのブリの大きさは迫力満点でした。(C.T)

[お問合せ先]  
宮城県東部地方振興事務所  
水産漁港部  
TEL:0225-95-7914, 1473